

# シラバス詳細

タイトル「2024年度」、カテゴリ「理工学研究科（博士前期課程）」

和文・英文ボタンを押すことで、和文↔英文の切り替えができます。

和文 英文

医学部のシラバスはこちらから。  
医学系研究科博士課程のシラバスはこちらから。

## 科目情報

コースナンバ  
リング

4-548x-704

科目名

ITイノベーション特論

開講学期

前期



# 1 クォータ

## 曜日・校時

月 3

## 単位数

2

## 授業担当教員

掛下 哲郎

## 講義情報

### 講義形式

講義13回，演習2回

### 講義概要

ITを活用して様々なサービスを創造するための方法論，作り出したサービスを継続的に提供するためのサービスマネジメント技術，および作りだしたサービスを守り競合相手に対する優位性を確立するための競争戦略を学ぶ.

88333333



Society 5.0（超スマート社会）やDX（Digital Transformation）など、未来社会を構築する上で情報技術は欠かせない。本講義では、ITを活用して様々なサービスを創造するための方法論等について講義し、学生の視野を広げることを目的とする。

## 到達目標

以下に挙げる3項目の知識およびスキルを身に付ける。

- A. イノベーションプロセス、マーケティング戦略およびサービスマネジメントに関する知識を理解する。
- B. ITを活用して様々なサービスを創造するための方法論に基づいて、企画を立案するスキルを身に付ける。
- C. マーケティング戦略を活用して、様々なビジネスの特徴を分析するスキルを身に付ける。

## 履修上の注意

- ・本講義では、毎回の授業内容を次回講義までに復習して理解していることを前提に講義を進めています。やむを得ず講義を欠席した場合には、講義HPからその回の講義資料をダウンロードの上、講義ビデオを視聴して学習すること。
- ・本講義では2回のレポート課題を課しています。各回のレポート作成には、平均的に10時間程度の負荷がかかるので、各自、計画的に課題をこなすこと。
- ・本講義ではノートPCを利用した演習を行います。ノートPCは各自で準備すること。
- ・15回を通してオンライン授業（オンデマンド型）を実施しますが、授業時間帯には出席を取ります。また、授業時間帯には、ライブでの質疑応答も行います（Zoom利用）。

## 授業計画



回	内容	授業以外の学習 本科目は、単位数×45時間の学修が必要な内容で構成されています。授業として実施する学修の他に、授業の内容を深めるために以下の事前・事後学修が必要です。
1	イノベーションと価値創造	講義HPで公開するオンラインテスト
2	価値創造プロセス	講義HPで公開するオンラインテスト
3	イノベーション類型(1) 科学・技術による創動を基軸としたイノベーション	講義HPで公開するオンラインテスト
4	イノベーション類型(2) オープン・イノベーション	講義HPで公開するオンラインテスト
5	イノベーション類型(3) ユーザー・イノベーション	講義HPで公開するオンラインテスト
6	イノベーション・マネジメント	講義HPで公開するオンラインテスト
7	企画立案演習	企画立案演習のレポート作成



8	競争戦略と知財戦略	講義HPで公開するオンラインテスト
9	マーケティング戦略(1) マーケティング・マネジメントの理解	講義HPで公開するオンラインテスト
10	マーケティング戦略(2) マーケティングのための情報収集	講義HPで公開するオンラインテスト
11	マーケティング戦略(3) 顧客との関係構築	講義HPで公開するオンラインテスト
12	ビジネスモデル紹介	講義HPで公開するオンラインテスト
13	ビジネスモデル分析演習	ビジネスモデル分析演習のレポート作成
14	サービスマネジメント(1) 市場提供物の形成	講義HPで公開するオンラインテスト
15	サービスマネジメント(2) 価値の提供	講義HPで公開するオンラインテスト

## 成績評価の方法と基準

- ・オンラインテスト（第1回～第15回、第7回と第13回を除く）：40%  
⇒ 到達目標Aに対応



- ・ビジネスモデル分析演習（第13回）のレポート：30% ⇒到達目標CにP  
対応

開示する成績評価の根拠資料等

オンラインテストの模範解答，演習レポート

開示方法

- ・オンラインテストの模範解答は，テスト受験後に開示する．
- ・演習レポートについては，学生の相談に応じてアドバイスを行う．

教科書

資料名		版
著者名	発行所名・発行者名	出版年
備考（巻冊：上下等）		ISBN
講義資料を配布する		

参考図書



資料名		版
著者名	発行所名・発行者名	出版年
備考（巻冊：上下等）		ISBN
コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント		第12版
Philip Kotler, Kevin Lane Keller, 恩藏 直人 (監修), 月谷 真紀 (翻訳)	丸善出版	2014
		978-4621066164
イノベーション・マネジメント: プロセス・組織の構造化から考える		
野城 智也	東京大学出版会	2016
		978-4130421430
競争の戦略		新訂
M.E.ポーター著 ; 土岐坤, 中辻萬治, 服部照夫訳	ダイヤモンド社	1995



資料名		版
著者名	発行所名・発行者名	出版年
備考（巻冊：上下等）		ISBN
		978447837 1527

リンク

[講義HP](#)

[ITストラテジスト試験](#)

[ITサービスマネージャ試験](#)

[教員HP](#)

オフィスアワー

水曜2校目および電子メール（メールアドレスは教員HPを参照のこと）

アクティブラーニング導入状況





アクティブラーニング導入状況

カテゴリー 4	カテゴリー 3	カテゴリー 2	カテゴリー 1	カテゴリー 0
学生が自ら 主体となっ て、学習の 方向性を定 め、問題解 決に導くた めの時間デ す。 PROBLEM BASED LEARNING	グループや 個人で行っ た能動的学 習の成果 を、教室 内外で発表 し、その評 価を受け たり、質問 に対応し たりすること により、学 修した内容 を深化させ るための時 間です。 OUTPUT	学生自らが 自由に発言 し、グルー プやペアで の協働活動 により課題 に取り組 み、何らか の帰結に到 達するため の能動的学 習の時間デ す。 INTERACTI ON	学生からの 自由な発言 機会はない ものの、授 業時間中に 得られた知 識や技能を 自ら運用し て、問題を 解いたり、 課題に取り 組んだり、 授業の振り 返しをしま す。能動的 学習を行 う時間デ す。 ACTION	基本的に学 生は着席の まま、講義 を聞き、ノ ートをと り、知識や 技能を習得 に努める時 間です。 INPUT
0	0	20	0	80



